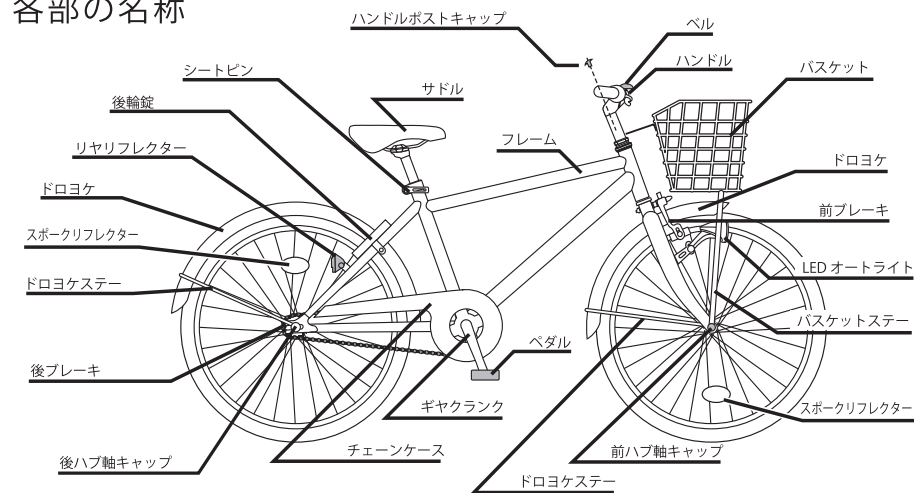


各部の名称



①ペダル（左右）

②ハンドルポストキャップ

③M5 ネジ 4 本

④M5 平ワッシャー 6 枚

⑤M5 ナット 2 個

⑥バスケット取付金具 1 枚

⑦スプリングワッシャー 2 枚

⑧バスケット 1 個

⑨前ハブ軸キャップ 2 個

⑩後ハブ軸キャップ 2 個

⑪取扱説明書 1 冊

①ハンドルの組み付け

前輪とハンドルを正面向きにセットし、限界標識が見えない位置で A 引き上げボルトを 6mm の六角レンチ (アーレンキー) で締め付けて下さい。

推薦締め付けトルク 18 ~ 20N・m(180 ~ 200Kgf)

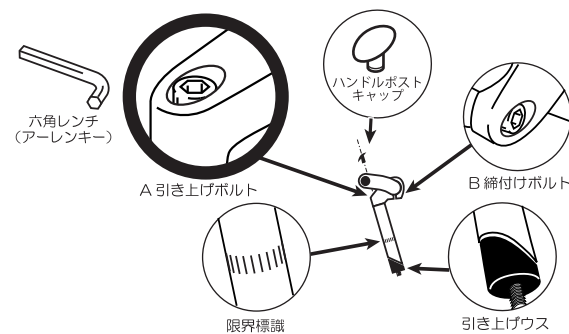
締め付け後、ハンドルポストキャップを取付けて下さい。

注意 限界標識の見える組付けは危険です。
必ず限界標識がフレームの中に隠れるようにセットして下さい。

注意 引き上げボルトは、ハンドルがしっかりと固定されているか確認しながら確実に固定して下さい。

注意 引き上げボルトは、締め付け過ぎに注意して下さい。

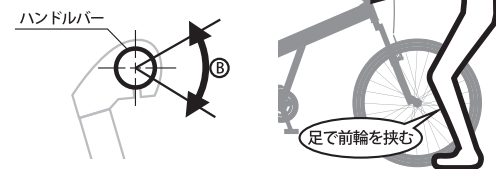
注意 ブレーキワイヤーは、前ブレーキ用が前方、後ブレーキ用が後方の状態で交差させて下さい。



❗ 固定の確認

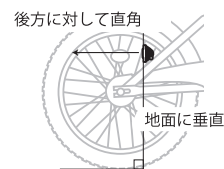
④ かじ取り方向の固定確認
前輪を足で固定し、
ハンドルだけが動かないか確認する。

⑧ ハンドルバー固定確認
ハンドルだけが下図の様に動かないか確認する。



②ベルとリフレクターの点検・調整

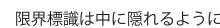
ベルはお客様が操作しやすい位置か確認して下さい。
リヤリフレクターは後方にまっすぐ後を向いているか
確認して下さい。



③サドル高さ調整

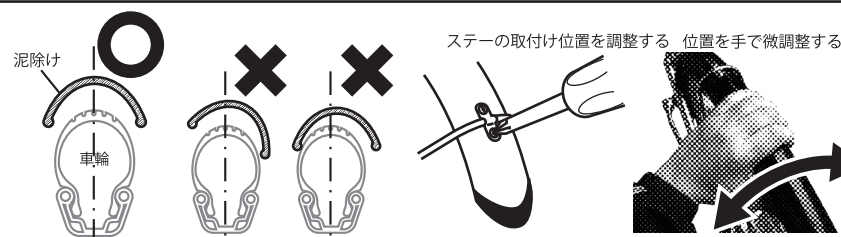
サドルの高さはシートピンを緩めて行い、調整後しっかりとサドルを固定して下さい。

注意 限界標識の見える組付けは危険です。
必ず限界標識がフレームの中に隠れるようにセットして下さい。



④泥除け位置の確認・調整

泥除けとタイヤの隙間が均一か確認して下さい。
タイヤとの接触や極端な片寄りが在る場合は修正
します。
泥除けや泥除けステーを曲げるか、固定ネジを緩
め位置を調整します。

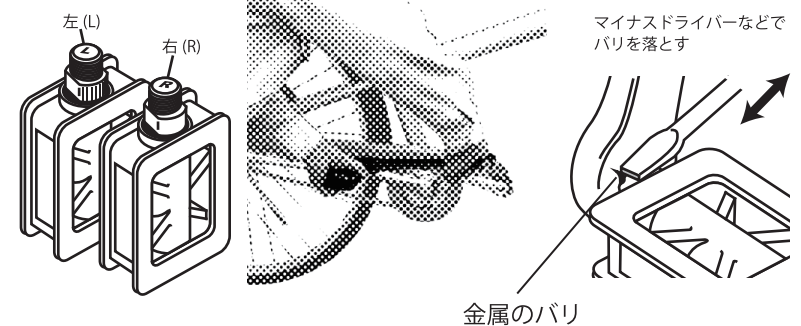


⑤ペダル組み付け

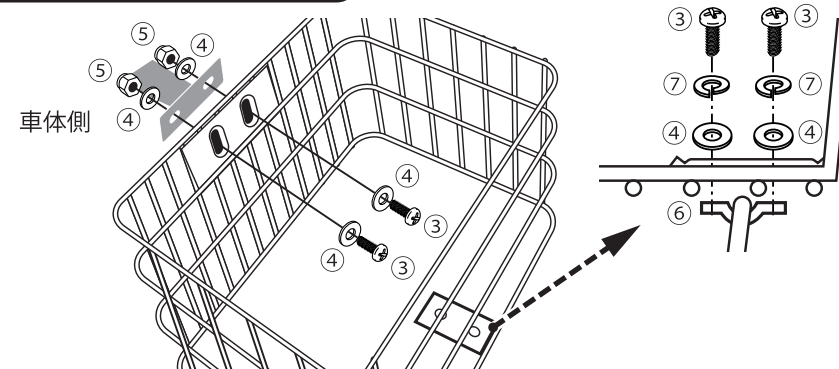
ペダルの左右を確認し、クランクに組み付けて下さい。
ペダルの組み付けは、はじめに手で2～3回転締めた後、
ペダルレンチできつく締め付けて下さい。

注意 ヘダルの組付け後クランクからバリが出た場合、マイナスドライバー等で取り除いてください。

注意 ペダルの締め付け方向
右ペダル…時計回りで締付けます。
左ペダル…反時計回りで締付けます。



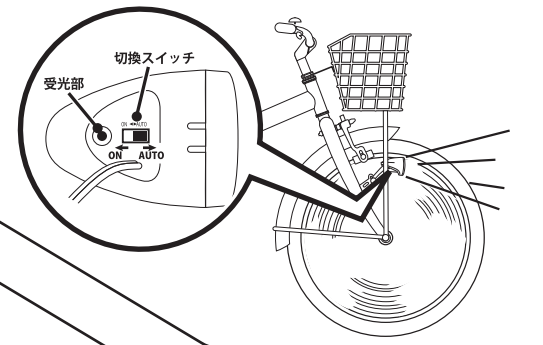
⑥バスケット組み付け



図のように位置を決めて組み付け、締め付けます。番号は同梱部品表の番号です。

⑦LED オートライト点検

切換スイッチを ON にして前車輪を回転させて、点灯することを確認してください。確認後は、お好みに応じて切換スイッチを AUTO にして下さい。



⑧ブレーキの点検・調整

ブレーキレバーを強く握ってワイヤーの初期伸びを取ります。ブレーキシューの隙間が左右均等かどうかを確認します。

不均等の場合、ブレーキ本体斜め上の片効き調整ボルトで調整します。2mm 六角レンチを使い、締めたり緩めたりしてバランスを調整します。

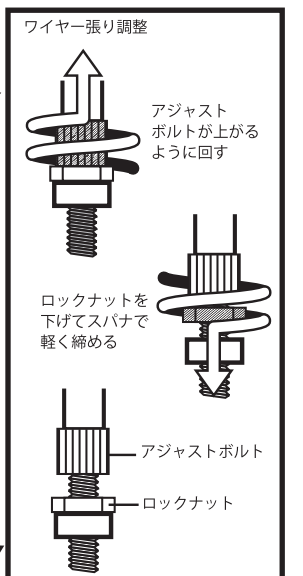
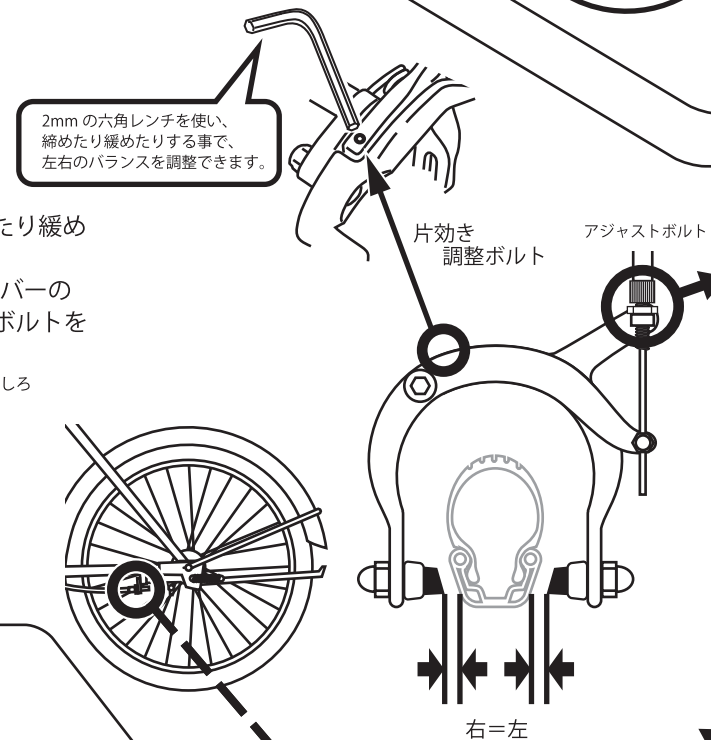
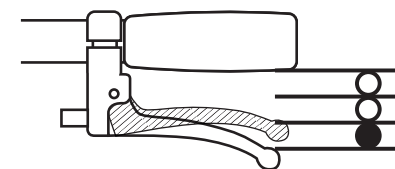
ブレーキレバーの引きを確認し、レバーのあそび※が大きい場合はアジャストボルトを調整します。

※ブレーキシューが車輪のリムに接触するまでの引きしろ

2mm の
締めた
左右の

※ブレーキシューが車輪のリムに接触するまでの引きしろ

ブレーキレバーの「あそび※」は 1/3 程度



⑨各部の固定確認

各部の固定を確認します。

⑩販売前点検

お客様台帳（取扱説明書添付）の
販売時のチェック項目を点検して下さい。